

山形県立博物館

YAMAGATA PREFECTURAL MUSEUM



利用案内

■開館時間

午前9時～午後4時30分
※午後4時までに入館してください。

■休館日

本館
月曜日（祝日の場合火曜日）・年末年始・一斉清掃日
くわしくは、本館カレンダーをご覧ください。

教育資料館（分館）

月曜日・祝日・年末年始

■入館料

※団体は20名以上

	本館		分館	
	個人	団体	個人	団体
大人（成年者）	300円	150円	150円	70円
小人（未成年者）	150円	70円	70円	40円
学生	150円	70円	70円	40円

※小学生、中学生、高校生、障がい者の方と付添1名は無料です

■入館無料の日

こどもの日 5月5日 文化の日 11月3日
東北文化の日 10月29日・30日

■交通案内

徒歩 JR山形駅より15分
車 山形道山形蔵王ICより5km、約10分
東北中央道山形中央ICより3km、約5分



山形県立博物館

〒990-0826 山形市霞城町1番8号 TEL 023-645-1111 FAX 023-645-1112

教育資料館（分館）

〒990-0041 山形市緑町二丁目2番8号 TEL 023-642-4397 FAX 023-642-4403

URL: <http://www.yamagata-museum.jp/>

山形県立博物館の概要

山形県立博物館は、本館、教育資料館（分館）、附属自然学習園からなっています。

本館は、山形県のなりたちから現在までの流れを、自然・歴史・民俗を通して展示する総合博物館です。

分館の教育資料館は、重要文化財「旧山形師範学校本館」の中に、“教育県山形”の教育のあゆみを展示しています。

自然学習園は、白鷹山腹にある琵琶沼とそのまわりの山林からなり、「県民の森」の一角に位置しています。琵琶沼は、貴重な植物や昆虫が生息することから、県指定の天然記念物にもなっています。



山形県立博物館教育資料館（分館）



山形県立博物館附属自然学習園（琵琶沼）

※表紙写真 **土偶（重要文化財）** 舟形町・西ノ前遺跡出土

縄文時代中期。5片に割れて出土し、復元された高さは45cmあります。女性の姿を抽象的に表現しており、海外出展でも、その優美さが評価されています。

第1展示室

豊かな自然とそのめぐみ

山形県は東側に奥羽山脈が連なり、最上川が流れ、西側は日本海に面しています。このような山形がどのようにしてできたのでしょうか。山から出たヒトデやヤマガタダイカイギュウなどの化石は、大地のなりたちを理解する良い資料です。生息する生物は多種多様で、そのなかから代表的な植物、昆虫、野鳥などを展示しています。これら生物どうしのかかわりあいや対馬海流と大雪に影響される自然環境も紹介しています。

主な展示テーマ

山形のなりたち 森林の科学 植物の世界 昆虫の世界 野鳥の世界

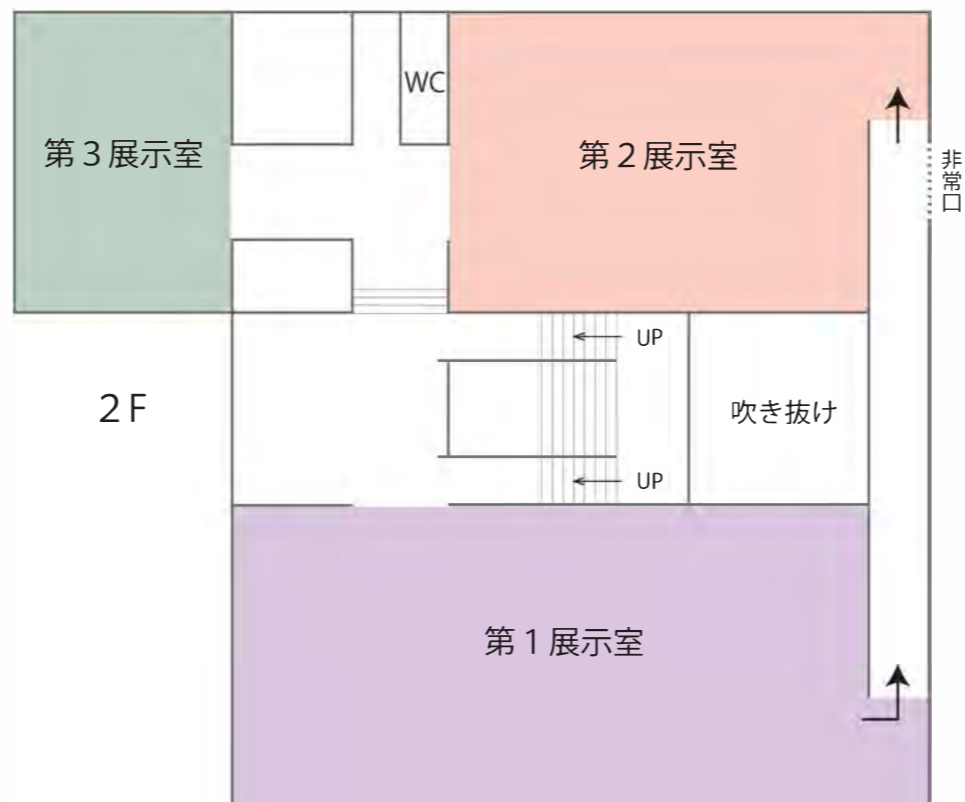
暖流と雪の山形



ヤマガタダイカイギュウ



コナラ・ブナ林の動物たち



第3展示室

近代山形くらしのうつりかわり

文明開花から大正・昭和へと、それぞれの時代を象徴して、身近で使われた品々を紹介しています。激しく揺れ動いた時代の中で、大きく変化した人びとの生活のようすを知り、現在の私たちの生活のあり方を考えることができます。また、山形のくらしの中での雪とのかかわりや、山形の代表的なやきもの・郷土玩具についても紹介しています。

主な展示テーマ

街かどの風俗 雪と山形 山形のやきもの 山形の郷土玩具



街かどの風俗

第2展示室

山形の大地に刻まれた歴史

山形に人が住みはじめたのは約4万年前のことと考えられています。それ以来、人びとはきびしく豊かな自然と深くかかわって生きてきました。出羽国がひらかれる頃や武士が登場するころのようす、江戸時代の庶民のくらしぶりや舟運でにぎわった最上川のようすなど、山形の大地に根ざした人びとのくらしが理解できます。

主な展示テーマ

山形のあけぼの ひらかれる出羽国 武士の動き 藩政と庶民のくらし
最上川のにぎわい 三山信仰への道 米づくりのくらしとこころ



日向洞穴のようす



農家のいろりばた